

39期第2回中央委員会

2014年5月3日9時より201号室にて第2回中央委員会が開催されました。

筒井副委員長より開会の挨拶、次に議長・書記が選任を行いました。

議長には鈴木正徳氏、書記には高田知義氏が任命されました。

続いて、福島書記長より中央委員の出欠状況の報告がありました。9時10分の段階では、定員16名中、出席10名(遅刻3名)、欠席3名、委任状3通にて、規約(組合規約第18条④)中央委員会は構成員の3分の2以上出席を以て成立し、議事は出席中央委員の過半数の賛成で決し、可否同数の場合は議長がこれを決する)に基づき、第2回中央委員会は成立していることを鈴木議長が宣言しました。

【菊池委員長の挨拶】

4月26日は全自交になつてはじめての、メンバーとなりました。参加して頂いた方は、暑くて空気が悪い中、ありがとうございます。

情勢につきましては、2月18日の東京地域協議会で、消費税増額の公定幅運賃が話し合われて以降、労働側ではあまり動きがありません。公定幅運賃については、事業者の99.6%が『タクシー改正特措法』に基づき賛成しています。しかし、残りの0.4%、全国で27社の事業者が反対し、大きい声を上げていることを、日経新聞や規制緩和論者が取り上げ、まるで全事業者と利用者が反対しているかのような論調を張っています。一部のマスコミが取り上げ、報道もされています。

油断をしていると足元を掬われてしまいます。消費税増税による乗り控えの影響はあまりありませんでしたが、『タクシー改正特措法』の目的であるタクシー労働者の賃金・労働条件の改善は未だ実現されていません。今後も上部団体の中で声を上げ、減車を進める為に特定地域に指定させる運動を強化して参りますので、ご協力をお願い致します。



挨拶する菊池委員長

春闘妥結提案を報告する
福島書記長(右下)



(左)鈴木議長(右)高田書記



真剣に資料に目を通す中央委員の皆さん

団体交渉の経過報告と『2014年春闘妥結提案』について、福島書記長より報告がありました。

①団体交渉の経過報告(第1回〜第2回団体交渉の報告は前回の躍進で報告した通りです。)

②『2014年春闘妥結提案』
不満は残りますが、昨年に続いて労働組合への『解決金』方式を評価して、回答書の内容を受け入れ、『2014年春闘妥結・調印』(調印予定5/8)を提案します。

③組合員への配分方法
解決金の配分は、支給日(5/16)に組合に在籍する本採用・嘱託・定時制の組合員に以下の様に行います。

1. 本採用及び嘱託の組合員に対して
一人一律 10,000円
2. 定時制組合員に対して
一人一律 5,000円
3. 残余については、一般会計に繰り入れます。

【質疑応答】

(原田孝幸氏)

A空転の補償について、現状の中身を確認したい。(執行部)

現在は、迎車料金410円以外、お客様都合、又は、無線センターのミスでのメーター料金については、原則1,090円まで会社が負担しています。しかし、イレギュラーに対しての補償については、今後も労使協議会で話し合っていきます。

(新川進氏)

羽田定額の待ちメーターについての補償はできないのですか？(執行部)

定額料金は認可されている料金なので補償は難しいです。

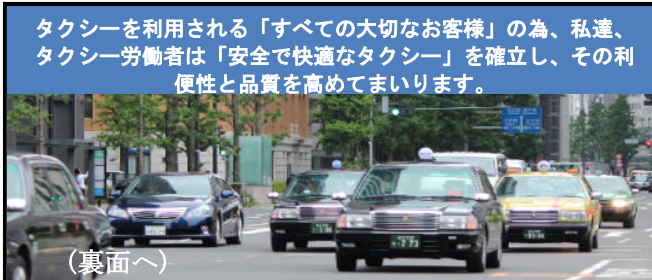
2014メーデー中央大会



2014メーデー中央大会に参加して頂いた組合員

2014年4月26日(土)に第85回メーデー中央大会へ「全自交労連」の一員として参加しました。東洋交通からは、組合執行役員7名を含め、明番であるB出番を中心に31名の組合員が参加しました。当日は大変天気が良く、暑くなりましたが、参加して頂いた組合員は最後まで熱心に話に聞き入っていました。参加して頂いた組合員には感謝申し上げます。

赤羽駅での宣伝行動



(裏面へ)

東洋交通労働組合 03 (5970) 9304
日交労働組合 03 (3535) 4515

「改正タクシー関係特措法」をより良いものとし、『公共交通機関』としての責任を果たせるタクシーの実現へ

我々、タクシー労働者は「公共交通機関」として、「安全・安心」に対する責任、法令遵守、高度な地理の知識、良質なサービスを提供する事が責務です。しかし、タクシーの業務は、拘束時間が実質20時間以上に及び、更に「規制緩和」と不景気による利用者の減少によって、過酷な「賃金・労働条件」を強いられています。賃金については、30年前の水準に落ち込んでいます。

2014年1月27日、労使共に闘った事により、「世論・政治・行政」を動かし、「改正タクシー関係特措法」が施行されました。しかし、内容は完全なものでは無く課題が残っています。「規制緩和」によってタクシーが増車され交通渋滞を引き起こしたり、歩合給が多くを占める賃金体系の為、売上重視で安全が損なわれてしまいました。「安全で快適なタクシー」を確立し、その利便性と品質を高める為に、利便性を保持しつつ、『溢れかえるタクシー』の減車が必要です。また、過度な運賃ダンピング競争による労働者の賃金悪化を防ぎ、タクシー業界全体が品質サービスで競争する為にも、『同一地域・同一運賃』を強く要求します。



タクシー乗り場の清掃も実施しています。

(小野純一氏)
タイヤの管理はどうなっているのですか?何シーズン目のタイヤかわかるようにしてほしいです。(執行部)
現在、2種類のタイヤがあり、シーズンが終わると整備が管理されています。使用できないタイヤは廃棄処分しています。タイヤはゴムの質によってグリップが違うので、使用する際は自分にとって良いものを選んで下さい。

(佐藤幸雄氏)
スタッドレスタイヤの管理場所について、まだ駐車棟に置いてあるのは、ゴムが劣化するからですか? (執行部)
タイヤの置場所は北門のタイヤ置場と決まっています。すぐに戻すよう申し入れます。
決議の結果、満場一致で承認されました。